

とだ 議会だより

No.224

12 令和5年
月定例会

発行：2024年1月31日

とだみらい会議 意見交換会 中学生×議員



- とだみらい会議を開催！ 13人の中学生と議場で意見交換 ▶ 02
- 国の交付金を活用した物価高騰対策を実施！ ▶ 04
- そこが聞きたい！ 一般質問 18人の議員が質問 ▶ 06
- 中学生社会体験チャレンジ in 議会 ▶ 15

戸田市議会

検索



<https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>
表紙：とだみらい会議

中学生×議員

とだみらい会議の流れ

- ✓ **議場【10分】**
参加者全員で挨拶・説明・アイスブレイク（動画視聴）
- ✓ **議場横ロビー【60分】**
5～6人ずつ4グループに分かれて意見交換
- ✓ **議場【50分】**
演壇で中学生全員が1人ずつ、話し合ったことや感想の発表

▼議場「挨拶・説明」



▼議場「演壇での発表」

議場演壇での発表は議会そのものの。緊張する様子もありましたが、みなさん堂々とした素晴らしい発表でした！



中学生との意見交換を議場で開催！

昨年度に引き続き、今回で第2回目となる「とだみらい会議」を議場で開催いたしました。「議会における服装の自由化」「議会 SNS」のほか、中学生がそれぞれ持ち寄ったテーマについてグループワーク形式で意見交換を行い、最後に議場の演壇で全員が発表しました。中学生には議会や議員を身近に感じてもらうとともに、議会としても次代を担う若者から大変貴重な刺激を受けました。

◎閉会後にインタビューも行いました！

- 議員のみなさんはとても親切で話しやすい雰囲気を作ってくれたおかげでとても楽しかったです。
- はじめは議会と聞いて堅いイメージがありとても緊張しましたが、話しているうちに緊張がほぐれました。
- この経験を生かして、話し合いとか前に出ることを頑張りたいです。
- 自分の年齢以外の人と、また、同年代の人ともいろいろな意見を交わすことができ、今日のことを今後に生かしていきたいです。
- あまりよく知らなかった戸田市議会のことを知ることができました。



「中学生の力はすごい！純粋、情熱、発想力、そして語る力。すべてが勉強になりました。皆さんありがとう！また会いましょう！」

戸田市議会 竹内議長



とだみらい会議の様子



閉会后インタビュー





主な議案と質疑

今定例会では、市長提出議案などが 29 件、議員提出議案が 3 件、委員会提出議案が 1 件提出され、いずれも可決された他、請願 1 件、陳情 3 件がいずれも採択されました。
ここでは、質疑が行われた議案などを紹介します。

国の交付金を活用した物価高騰対策を実施！

「低所得世帯への特別給付、プレミアム付電子商品券の販売、
とだ保育士応援手当」などを行う補正予算を可決！

予算

議案第 105 号 令和 5 年度戸田市一般会計補正予算（第 9 号）
低所得者世帯に対し、7 万円を給付

令和 5 年 11 月 2 日に閣議決定された総合経済対策において、物価高に伴う影響が大きい低所得世帯への支援策を追加することが盛り込まれ、住民税非課税世帯等を対象に 1 世帯当たり 7 万円を給付するものです。



予算

議案第 105 号 令和 5 年度戸田市一般会計補正予算（第 9 号）
**プレミアム付電子商品券「TODA PAY」を 30% の
プレミアム率で販売**

Q 抽選方法の改善は。

A より多くの市民に商品券が行き渡るよう、発行数を前回の 25,000 セットから 30,000 セットに増やす。また、1 人当たりの申し込みセット数の上限を 5 セットから 3 セットにするとともに、抽選方法については、当たりかハズレだけでなく、申し込みセット数の一部が当たる方法も採用する。

予算

議案第 105 号 令和 5 年度戸田市一般会計補正予算（第 9 号）
**保育士の確保と離職防止対策として
「とだ保育士応援手当」を創設**

保育士の確保と離職防止を図るため、一定の在籍要件や勤務要件を満たした保育士に対して、手当を支給するものです。なお、当初、令和 6 年 4 月からの開始に向けて準備していましたが、令和 6 年 3 月に前倒して実施するための補正予算です。



条例

議案第 85 号 戸田市インターネット上の誹謗中傷等の防止に関する条例
市民の誰もが被害者、加害者にならないために

Q 条例を制定することに至った背景と趣旨は。

A インターネット上で他人の感情を傷つけるなどの誹謗中傷、風評被害、プライバシーの侵害等の人権侵害が社会問題となっている。市民の誰もが、被害者にも加害者にもならないよう、市の責務と市民の役割を明らかにし、基本的施策に取り組んでいくことを趣旨としている。

条例

議案第 86 号 戸田市行政組織条例等の一部を改正する条例
**こども家庭センターの本格稼働、地域福祉、
福祉施策全般および健康政策の推進体制の強化**

Q 福祉総合相談窓口の今後の設置場所は。

A 現在、福祉総務課が所管する福祉総合相談窓口は、新たな所管課を生活支援課とし、これまでどおり、市役所本庁舎に設置する。経済的な問題をはじめ、福祉に関する悩みをお持ちの方の効率的なサポートのため、生活自立相談センターと一体的に運営を行う。

条例

議案第 97 号 令和 5 年度戸田市一般会計補正予算（第 8 号）
高校 3 年生相当までの通院費も無償化に

令和 6 年
7 月から

Q 年齢を拡大することに至った経緯は。

A 国・県の動向や医療費の状況、他自治体の実施状況などを総合的に勘案し、通院費の対象を拡大する判断に至った。

請願 陳情

今定例会では、委員会にて審査した結果、請願 1 件、陳情 3 件が採択、陳情 1 件が継続審査となりました。

◇請願第 3 号 「加齢性難聴者のため補聴器購入助成制度の創設を求める」請願

◇陳情第 8 号 核も戦争もない平和な二十一世紀を求める要望書

◇陳情第 9 号 令和 6 年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

◇陳情第 10 号 戸市新曽「第 19 広場空地」の除草に関する年間計画の見直しを求める陳情

◇陳情第 11 号 アーバンスポーツ（都市型スポーツ）広場等に関する検討を求める陳情

採択（全会一致）
継続審査

採択（全会一致）

採択（全会一致）

採択（全会一致）

意見書

議員提出議案として意見書 3 件を可決し、
国・政府に提出しました。

◇認知症との共生社会の実現を求める意見書

◇食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書

◇医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書

規則

委員会提出議案として、議会における服装の自由化に係る規則の改正について、可決しました。

◇戸田市議会会議規則の一部を改正する規則

服装自由化の詳細は 17 ページをご覧ください。

一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、18人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。





録画配信

銃撃事件と安全策

つぶやき

早期に適切に、事前・直後・事後の防犯対応を

みらいの会

そごう 拓也 議員

Q 市内の発砲事件を受け、今後の安全対策は

A 情報提供、注意喚起、地域警戒を行う

議員 令和5年10月、市内病院付近で発砲があり、2人が負傷し、郵便局に犯人が立て籠もる事件があった。本事件への対応は。

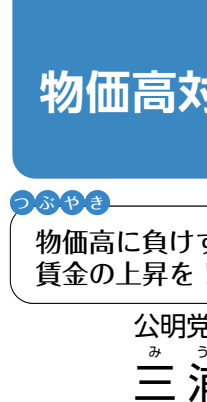
市民生活部長 事件発生後、蕨警察署生活安全課から本市のくらし安心課へ連絡が入った。その後、市長や関係部局へ共有し、防災行政無線やSNSで注意喚起を行った。同時に、青色防犯パトロールの警戒強化の指示や地域安全ステーションへの周知を行った。

議員 情報配信、警戒活動の詳細は。また、本市での防犯カメラ活用、立て籠もり時の対応は。

市民生活部長 情報配信は市ホームページとXで各2回、LINEとメールで各3回行った。1回目に「男が発砲し逃走」。2回目に「立て籠もり事件が発生」。3回目に「身柄を確保」と配信。児童・医療・福祉施設では、早期の警戒強化などの対応を行った。防犯カメラの映像については、警察と協力し、分析をしている。今後、防犯カメラの入れ替え時は、情勢や必要性などを総合的に勘案し、AI機能の導入なども研究していく。また、今回のような事件の際は、状況に応じて避難場所を開設する。さらには、移動支援、食料配布、要配慮者などについても適切に対応していく。



適切な防犯対策が求められます



録画配信

物価高対策

つぶやき

物価高に負けず、支援の拡充・賃金の上昇を！

公明党

三浦 芳一 議員

Q 低所得世帯に、7万円の年内支給を

A 早期の支給に向け、準備を進める

議員 「重点支援地方交付金」を活用し、年内支給を。
企画財政部長 物価高に最も切実に苦しんでいる低所得者向けの対策であり、追加の補正予算を検討し、早期の追加給付に向け準備を進めている。

議員 戸田市プレミアム付電子商品券「TODA PAY」の毎年実施で多くの市民が活用できるように。

環境経済部長 毎年実施されることで「TODA PAY」がブラッシュアップされ、認知度も高まり市内経済の活性化につながることから、継続して実施したい。

議員 少子化対策としての給食費無償化の継続や高齢者支援についても検討いただきたい。



App Store (iPhone等)

Google Play (Android等)

TODA PAY アプリ

Q 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

A 実施に向け検討してく

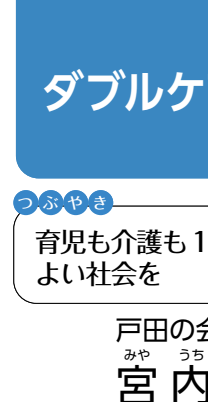
議員 80歳まで3人に一人が発症。患者数の増大により多くの市民要望がある。接種費用の助成を。

市長 実施に向けしっかりと検討していく。

その他の質問

Q エアロゾルフィルター設置について。

A 感染症対策の一つとして調査研究していく。



録画配信

ダブルケア支援

つぶやき

育児も介護も1人で背負わなくてよい社会を

戸田の会

宮内 そうこ 議員

Q 育児と介護が重なるダブルケアの支援を

A 包括的な支援の必要性を認識している

議員 ダブルケアは、女性に負担が集中しており、30～40代の働き盛りの世代と一致する。育児と親の介護を同時期に抱える家庭への支援が必要であると考えるが、本市の認識は。

健康福祉部長 経済的、身体的および精神的な不安感など課題はさまざまであり、包括的な支援が求められるものと認識している。

議員 育児と介護の両方の相談に応じる「ダブルケア相談窓口」の設置を。

健康福祉部長 令和2年度に福祉総合相談窓口を設置しており、ダブルケアの相談も受け、関係機関と連携して対応している。

議員 ダブルケアの負担軽減策として、特別養護老人ホームへの優先的入所や保育園の優先的入園などの支援策を。

健康福祉部長 特別養護老人ホームは県の指針に基づき優先入所できるように配慮している。

こども健やか部長 保育園の優先的入園についても介護の指数を優位に設定している。

議員 育児も介護も未来に関わる重要な課題であるため、ダブルケアへの支援体制の構築を要望する。



育児と介護を1人で背負うのは大変です

録画配信

消防行政の課題

つぶやき

市民の安全を守ってくれる隊員に感謝します

戸田の会
佐藤 太信 議員

Q 惨事ストレス対策と規定を

A 規定の整備を進める

議員 ①音声による 119 番通報が困難な聴覚・言語機能障害者が消防への通報を行うことができる NET119 緊急通報システムについて、周知および市ホームページに手話付解説動画の掲載を②ドローンを災害時の活用その他、コスト削減の観点から市全体においてさまざまな場面での活用の展開を③災害現場などで精神的ショックを受ける惨事ストレス対策と規定を。

消防長 ①障害福祉課で案内チラシを配布、動画の掲載準備を進める③隊員にストレス反応の兆候が見られた場合は、「話を聞く」「家に帰す」などの対応を行っている。規定の整備を進めるなど、サポート体制の充実に努める。

危機管理防災課長 ②導入市の事例を調査・研究する。



消防隊員へのサポート体制充実に

Q 市内バリアフリー状況の実態把握を

A 商工会の協力を経て実態把握を進める

議員 障害者差別解消法改正により令和 6 年 4 月から合理的配慮が事業者には義務付けられる。①市内店舗のバリアフリー状況の実態把握を②店舗に入りやすい環境整備を進めるため簡易スロープ購入等を補助するための制度構築を。

環境経済部長 ①商工会の協力を経て実態把握を進める②関係部署の意見などを参考に改善を検討する。

録画配信

男女共同参画

つぶやき

性別役割に関係なく、自分らしく生きたいな

日本共産党戸田市議団
むとう 葉子 議員

Q 男性職員の育休取得のための取り組みは

A ガイドブックで周知し、職員採用を強化

議員 ①とだあんさんぶるプラン（男女共同参画計画）の達成率は②正規市職員の男女比と目標値は③婚姻届の記載例は夫の氏に変更となっている。改善を④パートナーシップ制度の周知と理解を求める取り組みは。

市民生活部長 ①達成率は 40%。課題はアンコンシャス・バイアスの解消や性的少数者への理解促進である②男女の構成比は約 6 対 4。目標値は定めていない。③夫か妻の氏を選択する場合に変更する④市ホームページ、広報誌、商工会会報誌などで周知している。また、あいぱるの図書や展示、埼玉県 LGBTQ 県民講座を紹介するなど、性の多様性への理解促進に取り組んでいる。

議員 男性職員の育児休暇を取得しやすくするための取り組みは。また、会計年度任用職員も含めた市職員に対し、アンコンシャス・バイアスの学習機会を。

総務部長 ワークライフ両立支援ガイドブックを全庁に周知し、育休取得により生じる周りの職員の負担軽減として職員採用を強化する。学習機会は検討する。

その他の質問

Q 子供の居場所に関する総合的な将来像は。

A 調査などでニーズを把握し「こども計画」にて位置付ける。



子供の料理教室と子ども食堂

録画配信

ファミサポ事業

つぶやき

預かり場所は児童館などでも良いと思う

戸田の会
浅生 和英 議員

Q デジタル化を推進してはどうか

A 内容の充実につなげられるよう取り組む

議員 ファミリー・サポート・センター事業は、子育て世帯にとって非常に重要な支援事業である。①会員のニーズに寄り添った運営のための見直しは②協力会員の自宅以外でも預かりを可能にしては③先進市を参考にマッチングアプリなどの活用でデジタル化を推進しては。

こども健やか部長 ①アンケート調査を実施したい②利用者のニーズが多様化しており、アンケート結果を踏まえ柔軟に検討する③業務の効率化に寄与するので、個人情報に配慮し、依頼情報をメールにて配信するなど、協力会員、依頼会員ともに、利用しやすい環境づくりを推進し、内容の充実につなげられるよう取り組む。

議員 キャッシュレス化や必要な家庭へ利用料補助なども要望する。



その他の質問

Q 燃やしている製品プラスチックごみは、プラ新法施行により、分別が努力義務である。市民に分別の負担をかけたくないが、プラごみ削減と 3R の推進について本市の方針は。

A 「戸田市版プラスチック・スマートアクション」を年度内に策定し、市民、事業者、市がそれぞれ環境のために何ができるか、啓発も兼ねて取り組む。

録画配信

避難所運営と在宅避難

つぶやき

自分たちの災害危機は、まず自助から

戸田の会
野澤 茂雅 議員

Q 在宅避難について

A 無理な避難より自宅での備蓄準備を推奨

議員 避難所運営の考え方は。

危機管理防災課長 地域住民による自治を基本とし、自主防災会中心の避難所運営委員会が自主的に進めるが、避難所開設判断および発災直後の開設や運営は市職員が中心となることを想定している。

議員 自治を基本とした上で、誰でも開設・運用できる「運営・活動マニュアル」の採用や、自主防災会・避難所指定職員などでの事前の役割分担を進めてほしい。また、本市 10 万人規模の「在宅避難」について伺う。

危機管理防災課長 自宅で生活ができそうであれば無理に避難する必要はなく、自宅に留まるための食料や簡易トイレなどの必要な備蓄の準備を推奨している。

議員 「自宅を最高の避難所に」するため、「在宅避難」の重要性と認識向上、さらなる備蓄充実の推進を。



その他の質問

Q 段階的实施予定の「中学校部活動地域移行」と併せて、教員の部活動負担改善および生徒の実力向上のために、国の「部活動指導員」制度の導入を勧めるが見解は。

A 本市独自事業も効果が高いと考えているが、「部活動指導員」と併用しながら多角的に指導の充実を図っていきたい。

録画配信

水害対策

つぶやき

日常の良好な関係性は、いざという時発揮する

みらいの会

ふるや

古屋 としみつ 議員

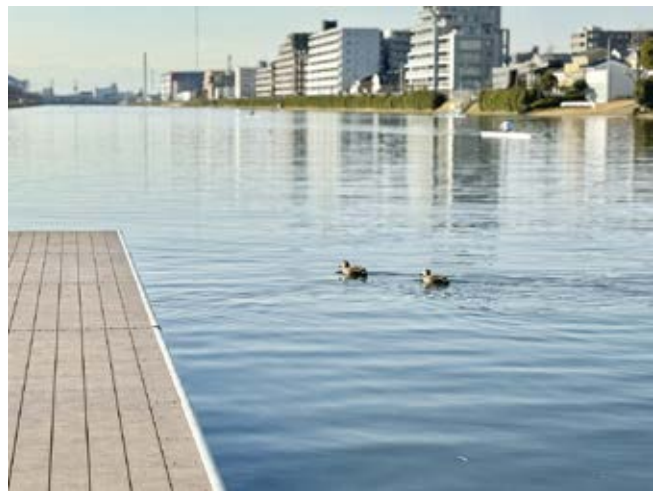
Q 戸田ボートコースの活用が効果的では

A 被害軽減のため大変有効な手段と考える

議員 戸田ボートコースの貯留量は、水位 10 センチあたり 2 万トン。例えば、50 センチ下げることができれば、現在行っている事前放流以上の量である約 10 万トンの貯留量が確保されることから、ボートコースの活用は市内の浸水被害対策として非常に高い効果が見込まれる。市の見解を伺う。

水安全部長 浸水被害軽減のための戸田ボートコース活用は、大変有効な手段と考える。引き続き、貯水量拡大に向けて県に働きかけを行っていく。

議員 その他、流域治水の考え方で、本市だけの対策だけでなく、上流にあたる近隣自治体との協力体制も重要である。



浸水被害対策として効果が期待される戸田ボートコース

その他の質問

Q 平時の市と市内企業との良好な関係性は、非常時やスムーズな市内体制に重要。育成・確保のためにも多くの市民も関わっている地元企業の受注機会をより確保する取り組みはできないか。

A 公平性、公正性、競争性を確保しながら地元企業が受注しやすい環境整備の新たな取り組みについて調査研究を続ける。

録画配信

新年度予算編成

つぶやき

市民のくらしと生業を守る予算編成を

日本共産党戸田市議団

ほんだ てつ

本田 哲 議員

Q 様々な負担軽減策を講じる予算編成に

A 市民の命とくらしを守る予算として編成

議員 令和 6 年度の予算は、本市の豊かな財政を生活や生業の隅々まで生かし、さまざまな負担軽減策を講じる予算編成となることが必要と考える。市の考えは。

企画財政部長 市民の命とくらしを守るため、限られた予算の中で最大の効果を発揮するよう編成している。

Q 親水公園のトイレの改修を

A 今年度中に不良箇所調査を実施する

議員 川岸 3 丁目の親水公園のトイレの個室が使用できなくなっている原因と、今後の改修スケジュールは。

環境経済部長 排水管の通水不良から男子トイレの個室を閉鎖している。今年度中に不良箇所調査を実施する。詰まりなどが原因の場合は、今年度中または来年度早々に修繕する。躯体の老朽化などが原因だった場合は、再築などに向けた予算化を検討する。

議員 不良箇所調査は、本年度いつ頃実施する予定か。

環境経済部長 不良箇所調査は、年明けの 1 月早々に実施できるように業務発注の準備を進めている。

議員 再築などをする場合のスケジュールはどうなるか。

環境経済部長 再築などの場合、工事に伴う設計業務を令和 7 年度に実施できるよう予算計上していきたい。



川岸 3 丁目の親水公園のトイレ

録画配信

植栽管理

つぶやき

安全、通行、近隣住民に配慮した植栽管理を！

戸田の会

やざわ はるか

矢澤 青河 議員

Q 住民への配慮は不可欠。市の植栽管理は

A 安全性や景観性を高める整備を研究する

議員 道路や公園の植栽は豊かな景観や緑陰を市民へ与える。一方、植樹から数十年が経過し、老朽化や高木化が進み、倒木や落枝、繁茂した草木による視認性の低下、管理費の増加などの課題が顕在化している。特に道路では、安全面・通行面は最優先。県では街路樹の管理方針を策定し、交差点や歩道の車両出入り口から 2 メートル以内の植生を制限している。植栽の安全・通行対策は。

都市整備部長 道路の植栽管理は、年 6 回の巡回や市民からの通報などにより現地確認を行い対応。道路環境が大きく変化した場合には利用形態に応じて植樹帯を狭めるなど、歩行スペース確保に努めている。

議員 市民の意見が最も多い落ち葉や害虫問題。こまめな剪定や距離の確保、樹種の選定（低木や常緑樹）など近隣住民への配慮は不可欠。市の植栽管理について伺う。

都市整備部長 道路では、時期を考慮して剪定・路面清掃などを実施している。

環境経済部長 公園では、高木の管理方針を定め倒木などの防止を実施。今後は、安全性や景観性を高める整備方法を研究する。

議員 道路や公園、学校など統一的な植栽の管理方針や部局横断の包括的民間委託など、今後研究を。



▲交差点・横断歩道付近の植栽 ▲歩道の植栽と点字ブロック

▲夏の緑陰―秋の落ち葉 ▲近隣家屋に越境する植栽

録画配信

心を育てる教育

つぶやき

子供たちの取り組みに関心を持ちほめよう！

とだ彩光会

はやし ふゆ ひこ

林 冬彦 議員

Q 好奇心や自制心、やりぬく力の育成は

A 全小中学校で育成計画を作り進めている

議員 GIGA スクール最先端を走る本市教育は「記憶、学習、論理的」といった「知力面」が注目されがちだが、人間的な成長に欠かせない「好奇心、自制心、やりぬく力」などの心の育成にはどう取り組んでいるのか。

教育部長 子供たちが 21 世紀を主体的に、そして充実して生き抜くための支援を全力で行うことが使命であると考え、全小・中学校で育成計画を作成し日々の学習や活動、学校行事など教育活動全体で取り組みを進めている。市内全小中学校で取り組むカリキュラムでは「間違いも正解もない」「お互いを尊重し受け入れあう」「思ったことや考えたことは全て発言してよい」「途中で考えが変わってもよい」などの約束のもと話し合うことで自己肯定感が高まる効果がみられる。異年齢集団での交流、職場体験、先端技術活用や有識者授業、町探検、課題解決型学習（PBL）、プレゼンテーション大会といった取り組みなども子供たちの心の育成に効果を上げている。

議員 知力のみならず心の育成にも力を注ぐ取り組みの数々に感動した。私たちも子供たちの取り組みに関心を示し、褒めることで心の成長を応援できる。さらに大人も生涯学習などを通じて成長できる。それが「教育のまち」の姿だと理解し、未来に希望を感じた。



知力のみならず心の育成にも注力する教育

録画配信

ゴミ集積所の管理

子育て世代の施策充実が町の発展に直結する

みらいの会

えん どう ひで き

遠藤 英樹 議員

Q 箱型のカラス除けネットの設置は可能か

A 町会の希望と地権者の理解で可能

議員 カラスなどの鳥獣によるゴミ集積所の被害を防ぐため、従来の単純にネットをかけるものから、管理がしやすく、折りたためるボックス型のネットが普及している。道路交通法の問題があることなどが課題とされるが、効果は大きいと考える。設置は可能か。

環境経済部長 設置についての法的な問題はクリアできると考えており、町会の要望に基づいて設置に協力していく。



現在、使用されているカラス除けネット

Q 本市の長時間預かり保育事業の状況は

A 一定のニーズに対応していると考えてる

議員 幼稚園に保育園の機能を持たせる事業で、本市でも長時間預かり保育事業として実施しているが、越谷市の方がより普及していると考えてる。理由として、①平日は長期休暇中も毎日開園する機能強化型がある②実施している幼稚園の教諭が保育を利用する場合の優遇措置を行っている③補助金の額が本市と比べてかなり多いという点で越谷市が優れているためと考えるが、本市の状況は。

こども健やか部長 本市においても、保護者の希望に応じて1日10時間以上の長時間預かり保育を導入しており、利用条件についてもさまざまな配慮を施していることなどから、預かり保育の一定のニーズに対応していると考えられる。

議員 本市の保育環境は越谷市より現状では良いと考えるが、良い点は参考にし、ぜひ取り入れてほしい。

録画配信

女性の健康支援

公園にミストシャワーを！

公明党

み わ こ

三輪 なお子 議員

Q 更年期やPMSなどに関する相談体制は

A 専門職が個別に対応している

議員 更年期やPMS（月経前症候群）などに関する相談、支援体制について現状を伺う。

健康福祉部長 心身の健康に関する相談は福祉保健センターの専門職による個別健康相談とこころの健康相談で受けている。PMSなどの症状によっては、婦人科や女性外来への受診を促すなど、相談支援を行っている。

議員 周知啓発が重要と考える。「女性の健康週間」におけるパネル展示や公民館での出前講座など、健康意識の啓発に力を入れるべきと思うが、所見を伺う。

健康福祉部長 周知方法を検討し「女性の健康週間」に合わせて実施する他、日頃から周知啓発にも務める。

Q [※]グリーンインフラを活用しては

A 今後も積極的に導入したい

議員 自然の働きを生かしたグリーンインフラを活用した取り組みを推進すべきでは。

環境経済部長 今後も公園の新設や改修の際には積極的に導入したいと考えている。

議員 ヒートアイランド対策として、市内公園にミストシャワーの設置をすべきと考えるがいかがが。

環境経済部長 コストや運用などについて研究を進める。



猛暑対策の一助として効果が期待できるミストシャワー

録画配信

交通安全対策

交通事故のない社会は市民の願い！

公明党

のぶ お

みうら 伸雄 議員

Q 通学路などにライジングボラードの設置を

A 他自治体の実施効果を調査研究していく

議員 通学路において、児童などを危険運転車両から守るためにゾーン30プラスで設置する物理的デバイスが効果的な対策であると考えてるが、市内施工実績について伺う。

都市整備部長 令和4年度に美女木小学校周辺でゾーン30プラスの一環として、車両の速度を抑制するため、ラバーポールにより、通行箇所を局所的に狭くする「狭さく」を実施した。

議員 設定した時間になると自動で昇降し、車両進入抑止効果があるライジングボラードの設置がスクールゾーンの通行規制に効果的であると思うが、設置について見解を伺う。

都市整備部長 交通規制時間帯の車両進入を抑制するライジングボラードは、実証実験などを行い、導入・設置されているケースが多いと認識している。導入については、他自治体の設置状況や実施効果について、調査研究していく。



その他の質問

Q 保育士の確保や業務環境の改善などを図るための施策は。

A 処遇改善策に係る追加の補正予算案件を提出する。

録画配信

高齢者支援

地域みんなで見守りを！

公明党

いし かわ きよ あき

石川 清明 議員

Q 一人暮らし高齢者見守りサポーターの導入を

A 提案頂いた手法も含めて検討する

議員 本市の一人暮らし高齢者の現状は。

健康福祉部長 令和5年4月現在の単身の65歳以上の世帯数は7,342世帯で全世帯数の約10.7%。

議員 一人暮らし高齢者の見守りの現状と課題は。

健康福祉部長 近隣住民の協力や民生委員が高齢者宅を訪問する見守り活動を実施。課題としては、近所づきあいを通じた見守りが減少していることが挙げられる。

議員 一人暮らし高齢者の支援の現状は。

健康福祉部長 「高齢者緊急時連絡システム事業」や「高齢者食事サービス事業」を実施している。

議員 地域において見守り、サポートしていく「一人暮らし高齢者見守りサポーター」の導入については。

健康福祉部長 さらなる高齢化に備え、見守り体制の充実が必要である。提案頂いた手法も含め検討する。

美女木、大字美女木、美女木東、春日、春日北町、春日南町、早瀬にお住まいの方は、 戸田市立地域包括支援センター 問い合わせ：「戸田市立介護老人保健施設」内 422-8821
喜沢、喜沢南、中町、下前、川岸1・2丁目にお住まいの方は、 戸田市東部地域包括支援センター 問い合わせ：「いきいきタウンとだ」内 434-6233
川岸3丁目、本町、南町、戸田公園、上戸田、大字上戸田、下戸田にお住まいの方は、 戸田市中央地域包括支援センター 問い合わせ：「戸田市立健康福祉の社」内 432-6088
大字新曽・新曽南・氷川町・大字下曽目にお住まいの方は、 戸田市新曽地域包括支援センター 問い合わせ：「新曽南庁舎」内 446-6767

地域包括支援センター

その他の質問

Q 緊急連絡先や葬儀などの生前契約先、お墓の所在地などを自治体に生前登録しておく「終活情報登録伝達事業」の導入について。

A 実施している自治体について調査研究する。

録画配信

IT人材の育成

つぶやき

ITを日本を支える産業に育てたい…

戸田の会

酒井 郁郎 議員

Q 小中学生からのIT人材育成を

A 先行事例を研究したい

議員 ITエンジニアの人材不足が深刻であり、日本にとっても喫緊の課題である。また、将来性、給与水準の面で、既に医師、弁護士以上に有望な仕事となっている。学童期に初歩的なITスキルを覚えれば、職にあぶれることは無く、また、高校・大学などへの進学時に高額のアルバイトに困らず、学費のために夜のバイトに就くなどの必要もなくなる。これらのことから、世界的に、若年者向けのIT人材育成のための拠点を作る例が増えている。本市においても無料でITスキルを習得できる拠点を整備し、IT人材育成や、中高年が社会のデジタル化に残さないための講座を実施しては。

環境経済部長 先行事例の状況把握に努めていく。



アルメニアの「TUMOセンター」。世界で先進的なIT人材育成の新設が進んでいる
(ツェモセンター <https://tuomo.org/>)

その他の質問

Q 議員を務める中で、市職員から匿名でパワハラ、不適切な事務による損失、サボタージュなどの情報提供を受けることがある。情報が上がりやすい風通しの良い組織づくりに加え、匿名通報窓口として調査権限のある第三者機関を設置し、必要に応じ公表すべき。

A 通報は実名のみ受け付けている。匿名では通報者の保護やフィードバックが難しい。

録画配信

高齢者福祉サービス

つぶやき

支払い方法は多くの選択肢があった方がよい

立憲民主とだ

小金澤 優 議員

Q 配食サービスなどの支払い方法に選択肢を

A 今後の契約時において検討していく

議員 配食および紙おむつなどの現物支給サービスの概要と利用方法について伺う。

健康福祉部長 高齢者食事サービス事業は、栄養バランスの取れた食事の配達とともに、高齢者の安否を確認する。配達日は・祝日を除く日の昼食で、1食当たり400円の自己負担となっている。おむつ等支給事業については高齢者に紙おむつ、紙パンツおよび尿取りパッドを支給するもので、1か月当たり5パックまでで、1パック当たり150円から500円の自己負担となっている。食事サービスは配食業者から事前にチケットを購入し、宅配時にそのチケットと交換で食事を受け取る。

議員 どのような支払い方法があるのか。チケット制になっている理由は。

健康福祉部長 購入時に現金での支払い、金融機関からの振込も可能となっている。チケットは、食事が適切に受け渡されたことおよび請求額の根拠を確認するものとして用いている。

議員 認知症の方などチケットの紛失やお金のやり取りが難しい方もいる。別居している家族が支払うことも考えて、コンビニ払いや口座振替など、支払い方法の拡充を強く要望する。

1 食事サービス

買い物及び調理等が行えず食事の確保が困難な高齢者に対して、昼食を提供し、安否確認を行います。

利用できる方

- 市内に住所を有し、住民基本台帳法による記録を受けていること。
- 65歳以上のひとり暮らしの方、又は65歳以上の方を含む60歳以上の方で構成されている世帯員であること。
- 在宅で生活し、身体的又は精神的理由で食事をとれないことが常態となっていること。

※以上の方が食事介助を必要とするときは、介助者も利用できます。

利用方法

- ①市に申請し、決定されると、市が配食業者に開始の連絡をします。
- ②利用者が事前に食事券を配食業者から購入します。
- ③配達された弁当と引き換えに券を渡します。

利用しやすい配食サービスを

録画配信

不登校対策

つぶやき

戦火、貧困、過度の競争、子供達を守って！

日本共産党戸田市議団

花井 伸子 議員

Q 誰一人取り残されない教育の充実に

A 密に連携し教育相談体制の充実に努める

議員 2022年度文部科学省の長期欠席（不登校）等の調査結果は「過去最多」の人数を示し看過できない。本市不登校児童・生徒の現状と、その原因・問題をどう捉えているか。

教育部長 本市の状況においても同様に小中学校とも増加傾向にある。原因は友人関係や学業不振、進路の悩みなど複雑多岐にわたる。

議員 文科省の調査において「最初に行きづらいつと感じたきっかけ」の問いに「友達のこと」が約50%、「先生のこと」が約30%となっている。結果を学校・教職員間で共有し、さらなる支援充実を求める。また、誰一人取り残されない教育の実現を掲げた「戸田型オルタナティブ・プラン」の現状と実績は。

教育部長 小学校内に設置した「ぱれっとルーム」は令和5年2月時点で101名が利用、子供たちは「楽しい」と答え、学校・教職員、保護者の支援につながっている。県立戸田翔陽高校内に設置した不登校生徒支援教室「いっば」は生徒の自己肯定感を高め、進むべき航路を示す灯台となっている。

議員 場の周知や実績などの情報が不十分。体制強化も求められている。

教育部長 密に連携し教育相談体制の充実に努める。



戸田型オルタナティブ・プラン

中学生 in 議会 社会体験チャレンジ



地域の中でさまざまな社会体験活動とおし、学校では得られない経験を積むことで、豊かな感性や社会性、自律心を養うことなどを目的としている中学生社会体験チャレンジ事業として、笹目中学校の生徒3名が本市議会の定例会中に職場体験を行いました。



会議の打ち合わせ、会場設営、会議中の発言、傍聴受付、議場内での写真撮影、会議録作成補助、図書室整理など、議会運営に係るさまざまな業務をこなしていただきました。

3日間ありがとうございました！



職場体験をした感想

近藤由都さん：今回の社会体験学習を通して議会に参加したり、一般質問の撮影をすることなど普段の学校生活では体験できないことをできたのでとてもいい経験になりました。



相澤瑛太さん：議会に出席して意見を言うなどの貴重な経験ができ、とても勉強になりました。実際に市役所で働いてみたことで、これまでよりも市役所のことが身近に感じられるようになりました。



高橋優斗さん：議会出席の際にはとても緊張しましたが、こちらに話題を振ってくれてとても話やすく、うまく話し合いに参加できてよかったです。



委員会 視察レポート



本市議会では、常任委員会は「年間活動テーマ」について、特別委員会・議会運営委員会はより良い議会を目指し、それぞれ調査・研究を行っています。

今定例会の初日には、閉会中に各委員会が実施した先進地への視察について、各委員長から報告がありました。

ここではその概要をお伝えします。

総務常任委員会 ドローンによる迅速な災害状況の把握を

<愛知県豊橋市>

さまざまな部局の職員で構成されているドローン隊を組織しており、災害時の被害状況の把握や、平時の写真撮影、各種調査などで活用しています。

<静岡県掛川市>

国土強靱化地域計画の主要な取り組みについて数値目標を定め、達成状況を毎年評価するなどして、着実な防災対策の推進に取り組んでいます。



豊橋市で実際に使用しているドローン

文教・建設常任委員会 地域による見守りにつながる取り組みを学ぶ

<宮城県登米市>

宮城県登米市では、コミュニティ・スクールの構成員にさまざまな団体の方を登用しており、盛んな活動を継続する一助となっていました。

<宮城県>

宮城県では、子供たちがより安全で安心できる地域を目指し、防犯意識を持った地域の目を増やすため、見守り事業に取り組まれていました。



登米市

健康福祉常任委員会 アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用

<佐賀県子ども・若者総合相談センター>

不適應問題を抱える若年層を支援するため、アウトリーチ（訪問支援）実施団体による、ワンストップ型の支援が展開されていました。

<熊本県ひきこもり地域支援センターゆるここ>

おおむね 18 歳以上の本人やその家族に向けて、「電話相談」「来所相談」「家族セミナー」「出張相談会」や「居場所づくり」が行われていました。



佐賀県

市民生活常任委員会 持続可能な町会・自治会への支援を

<北海道北広島市>

北広島市では、町内会運営の手引きを作成し、予算書などの見本や行政の支援一覧などをまとめ、持続可能な町内会支援に取り組んでいました。

<北海道札幌市>

札幌市では、未来へつなぐ町内会ささえあい条例を制定し、市、町内会、事業者などそれぞれの役割を明確にし、市を挙げて町内会支援に取り組んでいました。



札幌市

まちづくり・交通対策委員会 まちなかウォーカブルを生かしたまちづくり

<さいたま市>

さいたま市では、大宮駅周辺のまちなかウォーカブル事業において、コンペの実施により、大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略のアイデアおよび大宮のまちづくりへの参加者を募集し、まちづくりに市民活動を生かす取り組みがなされていました。また、さまざまな主体によるまちづくりを推進するため、アーバンデザインセンター大宮が設置されていました。



さいたま市の舗装デザイン総選挙の結果発表

議会トピックス

議会における「服装の自由化」の本格実施を開始しました

本市議会では、男性社会を前提とした議会における服装規定を見直すべく、令和 5 年 3 月定例会から、「服装の自由化」を 1 年間の試行として実施してきました。

この度、この取り組みが議会内でも定着してきたほか、早稲田大学マニフェスト研究所の第 18 回マニフェスト大賞でもエリア選抜に選定されるなど、外部からも好評をいただきましたことから、試行期間を短縮し、令和 5 年 12 月定例会から本格実施することといたしました。

本格実施にあたっては、この取り組みを「戸田市議会・インクルーシブ・スタイル」と定めて趣旨などを明確にすることともに、会議規則や傍聴に係る規則などにおける服装に関する規定を削除しました。

このように、各規定から服装に関する規定を撤廃し、議員および傍聴者を対象に服装を自由化することは市議会初の取り組みとなります。

この取り組みにより、多様性や男女平等への意識変革や、市民にとって身近な議会となることなどを目指してまいります。



政務活動費管理システム導入でさらなる透明性向上へ

政務活動費は、議会の議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会における各会派に対し、交付することができる金銭的給付のことをいい、これまで政務活動費の事務処理は手作業が中心でしたが、昨年度より、政務活動費管理システム開発業者と協定を交わし、全国に先駆けて無償にて実証実験を開始しています。

事務処理の効率化はもちろんのこと、情報公開という面においても、分析結果がグラフ化され、市民の皆さまへ政務活動費の使途について、よりわかりやすい情報をお知らせできるようになりました。

その他会派の詳細や各会派の比較などはこちら（政務活動費収支報告の情報公開ページ）からご覧ください



駅頭でパブリック・コメントの啓発活動を実施

総務常任委員会において協議している戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例（案）と、議会改革特別委員会で協議している戸田市議会 DCP（案）[※]について、パブリック・コメントの実施に併せ、令和5年11月7日（火）に啓発活動を行いました。

北戸田駅、戸田駅、戸田公園駅の駅頭において、駅の利用者などに手渡しでチラシを配付して、条例案やDCP案を周知するとともに、パブリック・コメントへのご意見をお願いする呼びかけを行いました。



各パブコメの意見募集結果はこちら



戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例（案）の意見募集結果 QR コード



戸田市議会 DCP（案）の意見募集結果 QR コード

美里町議会との交流会を実施 「姉妹都市交流事業 in 美里町」

戸田市と美里町は平成4年に姉妹都市提携をし、これまで多種にわたる事業を通じて交流を深めてきました。議員互助会では、令和5年10月27日に美里町で議員交流会を開催しました。

交流会当日は、美里町遺跡の森館の視察や猪俣の百八燈のビデオ視聴などを行いました。

また、併せて行った両市町の現状や課題についての意見交換会などを通して、より一層、親交を深めることができました。



市議会モニターと意見交換を行いました

市議会モニターと、議長、副議長、議会運営委員長、議会改革特別委員長、議会広報委員長による意見交換会を開催しました。意見交換は、「市議会モニターの応募者が増えるためには」「夜間や休日の議会開催について」「10年20年30年後の生活環境について」をテーマにグループ形式で行いました。終始和気あいあいとした雰囲気の中、議会モニターの皆様から市民目線で見えていただく中で、気が付いたことについて数多くの率直なご意見をいただくことができました。



戸田市自主防災組織連合協議会と議会懇談会を行いました

総務常任委員会の年間活動テーマである「戸田市における防災対策」について、本市の防災の現状を調査するため、戸田市自主防災組織連絡協議会との議会懇談会を開催しました。

避難所運営における自主防災会、市職員、施設管理者の役割分担の明確化についてや、行政との連携に関する課題などについて意見が挙がるほか、自主防災会の高齢化、家庭内での防災意識の向上についてなど、活発な意見交換が行われました。



SNS 開設



戸田市議会
Toda City Assembly

カパー写真を編集



埼玉県戸田市議会

10 件の「いいね！」・フォロワー31人

議会公式 Facebook をはじめました！

市議会の活動を身近に感じていただくための取り組みとして、議会 SNS の導入について議会広報委員会で協議してきました。

そして、この度、公式 Facebook アカウントを開設いたしました。

議会だよりや議会ホームページでは伝えきれない情報（本会議や委員会日程、議会イベント、議員や会派の紹介等）を投稿していきますので、「フォロー」や「いいね」をしていただけると今後の励みになります。

今回のほっとコーナーは、戸田市議会公式 Facebook ページで掲載しています。

QR コードからぜひ見てください。



題字を
書いて
くれた人



とだ

今回、題字に選んでいただけて光栄です。
特に意識したのは、画の繋がりで、筆の入りを丁寧に書きました。

「だ」が上手く書けず何度も書き直しました。

新曽小学校 6 年 ^{や の まな か} 矢野 愛佳 さん

次回 2 月臨時会・3 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
	2/5	6	7	8	9	10
	臨時会					
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21 議案説明	22 議案説明	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29	3/1	2
3	4	5 総括質問	6 質疑	7 常任委員会	8	9
10	11 常任委員会	12	13 特別委員会	14 一般質問	15	16
17	18 一般質問	19	20 春分の日	21	22	23
24	25	26 討論採決	27	28	29	30

駅頭募金を実施 令和 6 年能登半島地震



「令和 6 年能登半島地震」で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

戸田市議会では、被災された地域の方々への支援といたしまして、1 月 10 日の夕刻、議員が市内 3 駅に赴き、駅頭募金活動を行いました。

その結果、51 万 9,635 円の募金をいただき、全額石川県に送金いたしました。ご協力、誠にありがとうございました。

また、議員一人当たり 1 万円の計 26 万円についても、石川県に送金いたしました。